



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日

会社名 株式会社 神奈川銀行
 コード番号 非上場 URL <https://www.kanagawabank.co.jp>
 代表者 (役職名)取締役頭取 (氏名)近藤 和明
 問合せ先責任者 (役職名)総合企画部主計室長 (氏名)宮田 新悟 (TEL)045(261)2641
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,585	3.8	1,484	94.5	901	104.8
2022年3月期第3四半期	6,340	1.0	763	27.1	440	37.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 194百万円(-%) 2022年3月期第3四半期 340百万円(66.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期第3四半期	202	23	187	57
2022年3月期第3四半期	98	70	91	56

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	
2023年3月期第3四半期	551,640	27,022	27,022	4.8	
2022年3月期	552,705	27,476	27,476	4.9	

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 27,022百万円 2022年3月期 27,476百万円

(注) 「自己資本比率」は期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末		第2四半期末		期末	合計
	円	銭	円	銭		
2022年3月期	-	25 00	-	25 00	50 00	
2023年3月期	-	25 00	-	-	-	
2023年3月期(予想)	-	-	-	25 00	50 00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,000	23.3	600	31.9	134	57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 - 社、除外 - 社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,474,900株	2022年3月期	4,474,900株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	16,670株	2022年3月期	16,656株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	4,458,241株	2022年3月期3Q	4,458,404株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下の通りであります。

	年間配当金					配当金総額 (合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
2022年3月期	-	90 00	-	90 00	180 00	36
2023年3月期	-					
2023年3月期(予想)		90 00	-	90 00	180 00	36

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4~5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
3. 補足情報	6
(1) 2023年3月期第3四半期累計期間損益状況(単体)	6
(2) 銀行法に基づく開示債権及び金融再生法開示債権の状況(単体)	7
(3) 自己資本比率(国内基準・連結)	7
(4) 時価のある有価証券の評価差額(単体)	7
(5) 預金、貸出金の残高(単体)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきまして、経常収益は、前年同期比2億45百万円増加し、65億85百万円となりました。

昨年6月から課題解決支援融資を開始しました。これはコロナ以外の課題にも広く対応できる融資であり、原材料価格の高騰に伴い、今まで以上の運転資金を必要とする企業や、将来の仕入資金として手持資金を厚くしておきたい企業の資金需要に対応しています。その課題解決支援融資に積極的に取り組みました結果、融資量が伸び、貸出金利息は前年同期比93百万円増加しました。そのほかにも、お客様の資産運用ニーズにお応えすべく投資型商品の拡充に努めた結果、役務取引等収益も53百万円増加しました。いわゆる本業部分である貸出金利息や役務取引等収益が増加しました。

経常費用は、前年同期比4億77百万円大幅減少し、51億円となりました。営業経費が1億44百万円減少したことと、貸倒引当金繰入額が減少し、その他経常費用が減少したことが主な要因です。

以上により、当第3四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期比7億21百万円増加し、14億84百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比4億61百万円増加し、9億1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態につきまして、預金は、前連結会計年度末残高比84億37百万円増加し、4,894億2百万円となりました。

貸出金は、前連結会計年度末残高比174億97百万円増加し、4,005億88百万円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末残高比24億66百万円増加し、1,019億24百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末残高比4億54百万円減少し、270億22百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表しております通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
現金預け金	59,165	41,162
買入金銭債権	83	82
有価証券	99,458	101,924
貸出金	383,091	400,588
外国為替	121	57
その他資産	8,843	6,013
有形固定資産	4,285	4,143
無形固定資産	27	27
繰延税金資産	-	371
支払承諾見返	256	215
貸倒引当金	2,629	2,947
資産の部合計	552,705	551,640
負債の部		
預金	480,965	489,402
借用金	40,100	32,400
その他負債	2,710	1,585
賞与引当金	128	32
退職給付に係る負債	452	455
睡眠預金払戻損失引当金	27	19
繰延税金負債	79	-
再評価に係る繰延税金負債	507	507
支払承諾	256	215
負債の部合計	525,229	524,617
純資産の部		
資本金	6,191	6,191
資本剰余金	5,101	5,101
利益剰余金	13,607	14,250
自己株式	62	62
株主資本合計	24,837	25,480
その他有価証券評価差額金	1,511	433
土地再評価差額金	975	975
退職給付に係る調整累計額	150	133
その他の包括利益累計額合計	2,638	1,542
純資産の部合計	27,476	27,022
負債及び純資産の部合計	552,705	551,640

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
経常収益	6,340	6,585
資金運用収益	5,284	5,381
(うち貸出金利息)	4,763	4,856
(うち有価証券利息配当金)	484	469
役務取引等収益	936	989
その他業務収益	74	79
その他経常収益	45	134
経常費用	5,577	5,100
資金調達費用	110	75
(うち預金利息)	108	74
役務取引等費用	287	266
その他業務費用	102	85
営業経費	4,443	4,299
その他経常費用	632	373
経常利益	763	1,484
特別損失	1	0
固定資産処分損	1	0
税金等調整前四半期純利益	762	1,484
法人税、住民税及び事業税	396	556
法人税等調整額	74	26
法人税等合計	321	582
四半期純利益	440	901
親会社株主に帰属する四半期純利益	440	901

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	440	901
その他の包括利益	99	1,095
その他有価証券評価差額金	84	1,078
退職給付に係る調整額	14	17
四半期包括利益	340	194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	340	194

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第3四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

3. 補足情報

当行の2023年3月期第3四半期(2022年4月1日から2022年12月31日まで)における四半期決算について、お知らせします。

(1) 2023年3月期第3四半期累計期間損益状況(単体)

(単位：百万円)

	当四半期(A) (2023年3月期 第3四半期)	前年同四半期(B) (2022年3月期 第3四半期)	比較 (A)-(B)	2023年3月期 予想 (12ヵ月間)
業務粗利益	6,024	5,796	228	
資金利益	5,306	5,173	133	
役務取引等利益	723	649	74	
その他業務利益	5	26	21	
経費 () (除く臨時処理分)	4,329	4,469	140	
うち人件費 ()	2,223	2,281	58	
うち物件費 ()	1,799	1,881	82	
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,695	1,327	368	
一般貸倒引当金繰入額 ()	-	-	-	
業務純益(一般貸倒引当金繰入後)	1,695	1,327	368	
コア業務純益(5勘定戻を除く。)	1,670	1,321	349	
コア業務純益(投資信託解約損益を除く。)	1,759	1,337	422	
臨時損益	213	566	353	
不良債権処理額 ()	324	508	184	
貸出金償却 ()	1	34	33	
個別貸倒引当金繰入額 ()	323	474	151	
債権売却損等 ()	-	-	-	
株式等損益	51	2	49	
株式等売却益	53	2	51	
株式等売却損 ()	2	-	2	
株式等償却 ()	-	-	-	
貸倒引当金戻入益	-	-	-	
償却債権取立益	8	28	20	
その他の臨時損益	51	88	139	
経常利益	1,481	760	721	1,000
特別損益	0	1	1	
税引前四半期純利益	1,481	759	722	
法人税、住民税及び事業税 (法人税等調整額を含む)()	581	321	260	
四半期(当期)純利益	899	438	461	600
与信関係費用 (+ - -)	316	480	164	

(2) 銀行法に基づく開示債権及び金融再生法開示債権の状況 (単体)

(単位：百万円)

(参考) (単位：百万円)

	2022年12月末		2021年12月末		2022年9月末	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		3,408		3,036		1,814
危険債権		3,499		5,195		4,743
要管理債権		780		216		286
三月以上延滞債権		32		6		77
貸出条件緩和債権		747		209		209
小計 (A)		7,688		8,448		6,844
正常債権		393,344		381,049		388,681
合計 (総与信残高) (B)		401,032		389,497		395,526
総与信残高に占める割合 (A) ÷ (B)		1.92%		2.17%		1.73%

(3) 自己資本比率 (国内基準・連結)

「自己資本比率 (国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし、自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準 (平成18年金融庁告示第19号)」に定められた算式に基づき算出しております。

(参考)

	2022年12月末	2021年12月末	2022年9月末
1. 自己資本比率 (%)	9.37	9.45	9.49
2. 連結における自己資本の額 (百万円)	26,066	25,004	25,947
3. リスク・アセット等の額 (百万円)	278,166	264,327	273,369

(4) 時価のある有価証券の評価差額 (単体)

(単位：百万円)

(参考) (単位：百万円)

	2022年12月末				2021年12月末				2022年9月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
其他有価証券	101,058	562	2,628	2,066	97,609	2,605	3,148	543	100,182	1,304	2,623	1,318
株式	6,999	1,649	1,907	257	6,832	1,262	1,590	328	6,861	1,425	1,695	270
債券	89,144	611	615	1,227	84,472	1,245	1,269	24	88,081	310	809	498
その他	4,914	475	105	580	6,305	98	289	191	5,239	430	119	549

(注) 当四半期末の「評価差額」および「含み損益」は、当四半期末時点の帳簿価額 (償却原価法適用、減損処理後) と時価との差額を計上しております。

(単位：百万円)

(参考)

(単位：百万円)

	2022年12月末				2021年12月末				2022年9月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 預金、貸出金の残高 (単体)

(単位：百万円)

	2022年12月末			2021年12月末	2022年9月末
		2021年12月末比	2022年9月末比		
貸出金未残	400,588	11,570	5,430	389,018	395,158
貸出金平残	390,187	4,511	3,145	385,676	387,042
預金未残	489,424	15,128	2,722	504,552	486,702
うち個人	348,284	5,106	508	353,390	347,776
うち法人	141,139	10,023	2,214	151,162	138,925
預金平残	491,967	7,767	1,623	499,734	493,590